

戸田市 施策評価シート

作成日	令和元年 6月 4日	作成者名	山老 英巳	評価者名	小森 敏
-----	------------	------	-------	------	------

1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	05 快適で過ごしやすいまち	中心となる課	都市整備部・土地区画整理事務所
分野	02 市街地整備	関係課	
施策	50 新曽第一、第二地区の土地区画整理		
施策の目的	都市基盤整備に併せて秩序あるまち並みと計画的な土地利用の推進により、安全で快適な住環境を創出します。		

2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み①	調査設計費（新曽第一地区）
取り組み②	建築物等補償事業費（新曽第一地区）
取り組み③	宅地整備事業（新曽第一地区）
取り組み④	調査設計費（新曽第二地区）
取り組み⑤	建築物等補償事業費（新曽第二地区）
その他の取り組み	宅地整備事業（新曽第二地区）
その他の取り組み	

3. 施策の指標における成果（主な指標）<CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値					
				H27	H28	H29	H30	R1	R2
新曽第一地区 使用収益開始面積割合	全体宅地面積に対して仮換地が法的に使用することができる面積比	%	93	75.2	75.5	77.8	78.9		
新曽第二地区 使用収益開始面積割合	全体宅地面積に対して仮換地が法的に使用することができる面積比	%	28	19.2	20.7	22.7	24.5		
その他施策の取組事項に係る成果	施策の目的である「安全で快適な住環境の創出」に寄与する戸田駅西口駅前交通広場や3号調整池（新曽第一地区）の設計に着手した。また、上戸田川整備に係る用地確保については、一部移転補償契約を締結した。								

4. 施策の展開 <ACTION>

課題	新曽第一地区の使用収益率は78.9%となったが、事業を早期完了させるため、交渉が難航する権利者の対応を積極的に進める必要がある。今後、駅前交通広場や調整池などの大規模工事が控えていることから、財源の確保やそれらを確実に遂行できる人材の確保が必要である。 新曽第二地区の使用収益開始率は24.5%と新曽第一地区と比較すると低いことから、事業計画に基づき事業推進を図る必要がある。また、地区内を縦断する上戸田川に関しては、治水機能を向上させるため整備に係る権利者の事業協力を得る必要がある。	対応策	効率的に事業進捗が図れるよう未対応の権利者、難航権利者をリスト化、再整理し、交渉を進める。また、財源の確保については、既存補助金の確保の他、新規補助メニュー導入に向けた検討を進める。 また、新曽第二地区においては、使用収益開始率を上げるために仮換地変更や事業計画の見直しなどの検討を進める。
----	--	-----	--

○結果と今後の方向性（シート作成次長記入）

進捗状況 (A 躍進中、B 予定通り、C 遅れ気味)	説明 (総評)	新曽第一及び新曽第二地区ともに成果指標の達成値は、未だ目標値に届かず、遅れ気味となっているが、前述した対応策を実施することで、目標値に近づけたいと考えている。
C		
今後の方向性（人員/予算） (↑増加、→維持、↓削減)	説明 (人員/予算)	施策の目的を達成するには、特に補償交渉や大規模工事を完遂するために人員の入替や優秀な人員の大幅増員が必要である。 また、前述した交渉や工事を実施するためには、補助金の確保はもちろんのこと市単独費の投入も必要である。
↑		

(評価者コメント)

新曽第一・第二土地区画整理事業は、第4次総合振興計画の将来都市像を実現するための重要な事業である。市としても最大規模の政策事業であり、その成果は将来の世代に渡っても享受できるまちづくりの基盤整備であるため、引き続き事業完了に向けて事業を推進していく必要がある。
--

戸田市 施策評価シート

作成日	令和元年 6月 4日	作成者名	山老 英巳	評価者名	小森 敏
-----	------------	------	-------	------	------

5. 事務事業の検討 【一般会計】

(単位：千円)

大 事 業	中 事 業	事務事業名		事務事業評価の結果								★事務事業の方向性			R 2 予 算 額	事業費 うち 一般財源											
		事業コード	事業内容	事業区分	H30決算額	事業の方向性	実施計画候補	評価結果				事業の方向性	実施計画候補	施策内優先度			コメント										
					R1予算額			施策への貢献度	経費水準	事業手法	受益・負担の公平性																
					R2計画額																						
01 新曽第一土地区画整理事業 (土地区画整理事務所)																											
	01	新曽第一土地区画整理事業		任意	17,704	1		A	A	B	B	1		B		0											
	01	08	04		04											01	01	26,194	0								
		事業地内を定期的に除草し環境整備していく施行者管理地			26,194																						0
					10,235																						
02 新曽第二土地区画整理事業 (土地区画整理事務所)																											
	01	新曽第二土地区画整理事業		任意	11,325	1		A	A	B	B	1		B		0											
	01	08	04		04											02	01	13,479	0								
		事業地内を定期的に除草し環境整備していく施行者管理地			13,479																						0
					6,823																						
03 新曽第一土地区画整理事業特別会計繰出金 (土地区画整理事務所)																											
	01	新曽第一土地区画整理事業特別会計繰出金		任意	402,919	-	-	-	-	-	-	-		予		0											
	01	08	04		03											01	1,179,073	0									
		※予算編成用シート(指標等未設定)			1,179,073																						0
					3,412																						
04 新曽第二土地区画整理事業特別会計繰出金 (土地区画整理事務所)																											
	01	新曽第二土地区画整理事業特別会計繰出金		任意	191,005	-	-	-	-	-	-	-		予		0											
	01	08	04		04											01	418,068	0									
		事業地内を定期的に除草し環境整備していく施行者管理地			637,797																						0
		※予算編成用シート(指標等未設定)			637,797																						
					682																						
計 (千円)																											
					事業費											622,953	1,302,282	1,856,543	0								
					うち一般財源											622,953	1,102,282	1,856,543	0								

事業の方向性： 1 現状で継続 2 拡大して継続 3 縮小して継続 4 他事業と統合 5 休止 6 その他見直し
 7 令和2年度で終了 8 令和元年度で終了 9 平成30年度で終了

